

会員のみなさま

JSPEHSS 副会長の木塚朝博です。

紅葉の便りが届く季節になりました。最近一気に冷えたので、綺麗に色づいているところもあるようですが、特に市街地では、“激”猛暑によって葉っぱが焼けてしまい（葉焼け現象）、黄色紅色を飛び越して茶色が目立つとのことです... 涼しくなると忘れてしまいがちですが、今年の夏は、熱中症など暑熱対策に奮闘（翻弄？）された方々も多かったと思います。これまでのような画一的な対策ではなく、各スポーツ各種目で、個人の特性や能力で、暑熱対策も多様化しなければならないと痛感します。猛暑を避けて、夏の各種スポーツ大会の在り方を見直す動きも広がっていますが、日本体育・スポーツ・健康学会としても、学術的知見を結集して、多様な対策を、自信を持って採用できるように、シンポジウムや領域横断企画を実施して行きたいと考えています。

さて10月25日に開催された2025・2026年度第4理事会から重要なお知らせです。

1) 来る12月20日に日本体育・スポーツ・健康学会主催（主管：JSPEHSS 若手研究者委員会、共催：日本スポーツ体育健康科学学術連合、公益社団法人全国大学体育連合、一般社団法人日本体力医学会）で「緊急公開シンポジウム2025 教員養成における一般教養科目としての体育の役割と課題を考える」を開催します。既に会員に皆様には、複数のルートから案内が届いているかと思いますが、前回の理事会通信でお知らせした「中央教育審議会の教員養成部会は、教員養成課程で必修となっている憲法や体育などの教養科目について廃止を検討している」との情報に端を発し、学会として学術的な視点から議論をしようと、まさに緊急企画です。オンラインOK、参加費無料ですので、是非お申し込み下さい。

2) 学会大会の企画が進んでいます。まずは、第75回大会、日本体育大学の関係者の皆様、本当にありがとうございました。お疲れ様でした。また、来年の第76回大会は、北翔大学を主管校に札幌で開催されます（会期：2026年8月31日～9月2日）。只今、シンポジウム、応用（領域横断）研究部会および専門領域による発表、キーノートなど、各種企画のスケジュール調整が進行中です。さらに、第77回大会は東京学芸大学で、只今、会期を検討中ですが、2027年10月5日～10月7日となる“予定”です。そして、第78回大会は山梨学院大学が主管校を引き受けて下さるとのことです。正式な決定はまだ先（総会で）ですが、会員の皆様におかれましては、数年先を見越して「ご準備」をして頂けたら幸いです。

議事次第は以下の URL からご覧いただくことができます。

<https://taiiku-gakkai.or.jp/wp-content/uploads/2025/11/jspe20251025.pdf>

以上